

町民各位

～ 災害時の避難について ～

新型コロナウイルス感染症が収束しない中でも、災害時には、危険な場所にいる人は避難することが原則です。

次の5つのポイントを確認しておきましょう。

●避難とは「難」を「避」けること。

安全な場所にいる人まで、避難場所に行く必要はありません。

●避難先は公民館や多目的センターではありません。

安全な親戚・知人宅に避難するなど、「分散避難」にご協力をお願いします。

台風や豪雨などの災害が発生した場合、町が開設する避難所には多くの方が避難する可能性があり、新型コロナウイルスをはじめとする感染症など、感染拡大のリスクが高まることが想定されます。また、特に要配慮者や基礎疾患のある方などは、感染すると重症化するリスクが高まります。

避難所におきましては感染対策を行い、受入体制を整えてはいますが、上述のことから分散避難にご協力をいただき、もし安全な親戚や知人宅などに避難することが難しい場合は、地域包括支援センターやケアマネージャーに相談するなど、平時から家族で考えておきましょう。

●マスク・消毒液・体温計が不足しています。

できるだけ自ら携行しましょう。また、避難の際には、非常持ち出し品に「マスク、体温計、熱中症対策のためのうちわや扇子、感染症予防のための水筒などの飲料水、手拭きタオルやハンカチ、ウェットティッシュ、食料や2～3日分のお薬、ビニール袋」などを用意して避難しましょう。

●災害の状況により避難場所、避難所が変更・増設されている可能性があります。

災害時には戸別受信機を活用し、町内放送等の情報にご留意ください。

●豪雨時の屋外の移動は車も含め危険です。

やむをえず車中泊する場合は、浸水しないよう周囲の状況等を十分に確認してください。

平時の準備と早めの避難を心掛けましょう

「自分の身は自分で守る」ことを意識して、日頃から感染予防の準備をしておくとともに、避難が必要な場合には早めの避難を心掛けましょう。